

学校だより

あいさつは心と心をつなぐリボン

校長 関川 紀美子

美しく咲いていた桜もすっかり若葉の清々しい木々に様変わりし、代わってハナミズキのピンクや白の花が、賑わせてくれるようになりました。花の季節は心が躍ります。

入学した1年生をはじめ、進級した2年生から6年生も張り切って生活をしています。これも子どもたちを支えてくださっている保護者や地域の皆様のご理解とご支援の賜物と改めて心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

毎朝、わたしは児童玄関に立って子どもたちとあいさつを交わしています。はじめは、元気が少し足りないようなあいさつでしたが、最近は元気な「おはようございます」が聞かれるようになってきました。少しずつ互いに慣れてきているのでしょうか。

また、少し時間が立つと委員会の子どもたちが職員室に来て、とてもさわやかな元気のよい「おはようございます」のあいさつをしていきます。これは、子どもたちのあいさつに対する意識のさらなる向上を目指すため、2年ほど前から行われている取組です。だから、朝は職員室も慌ただしいのですが、子どもたちが来ると先生方は手を止めて子どもたちの方を向き「おはようございます」「ありがとう」と返しています。

「あいさつ」は周囲の空気を明るく爽やかにしてくれます。また、人間関係を円滑にします。あいさつは心と心をつなびます。当たり前のよう笑顔で進んであいさつができる子どもに育つよう、これからも取り組みます。



児童玄関前のパンジー



花が満開